

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0007

住 所 川崎市川崎区駅前本町12番1川崎駅前ターミナルビル10階

氏 名 株式会社 ENEOS NUC
代表取締役社長 岩崎 努 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項（同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 ENEOS NUC		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区浮島町 8 番 1 号		
該当する事業者 の要	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	石油化学系基礎製品製造業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		55,667 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX 番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ～ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	R5

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

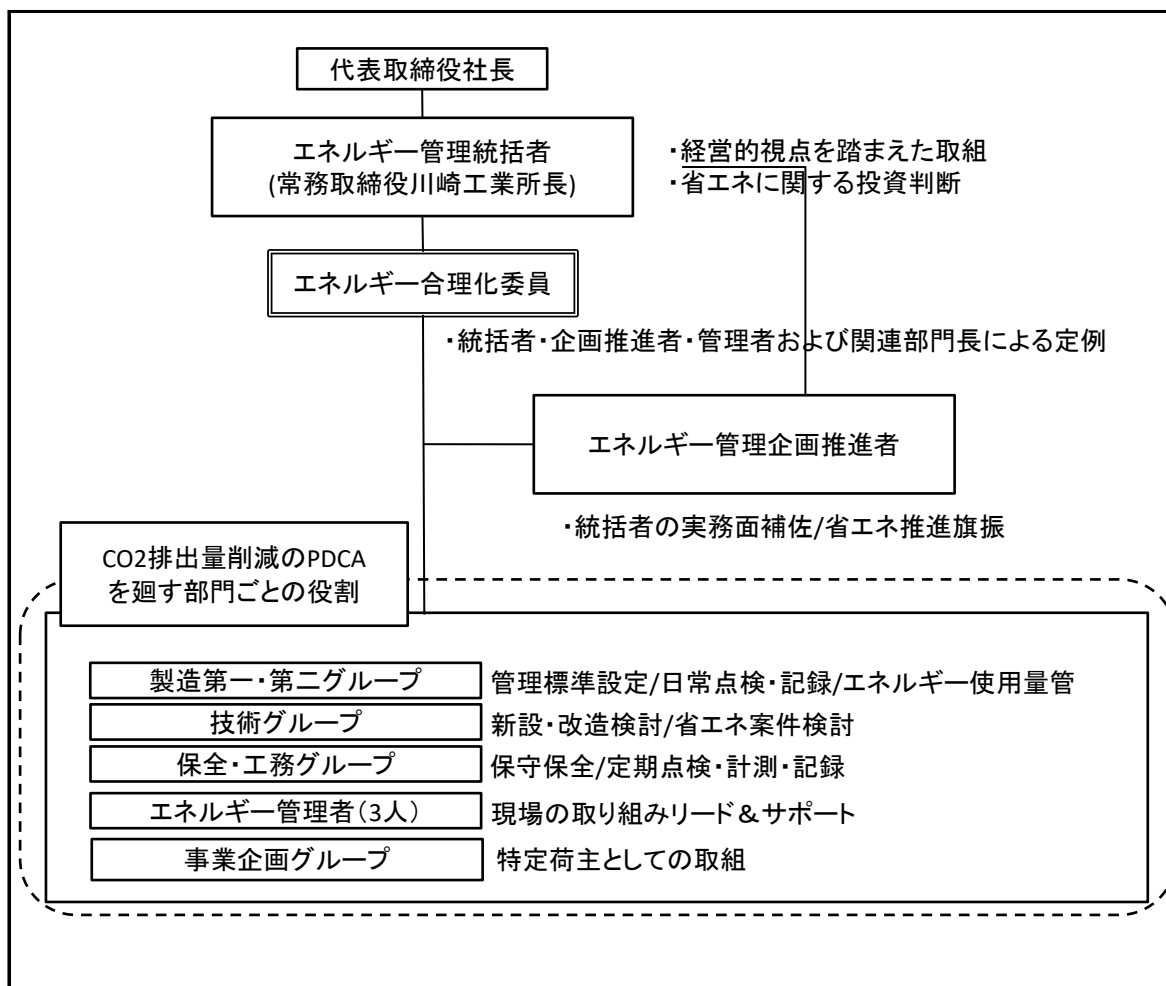
ENEOSグループの一員として、グループ環境方針に基づき中期環境経営計画を策定し推進している。

1. 低炭素社会の形成（CO2排出量削減）
2. 循環型社内の形成（廃棄物削減対策の推進、オフィスにおける環境負荷低減）
3. 環境保全策の推進（生物多様性保全に寄与する活動、環境管理体制の充実、その他活動）

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- ・工業所長（エネルギー管理統括者）を委員長とする「エネルギー合理化委員会」で前年度総括および今年度目標（エネルギー原単位及びCO2削減量）を策定する。
 - ・目標達成状況は、毎月開催する会議体（工業所長以下出席）で製造部門から報告され、設備・運転上の省エネ課題を共有し対応、次月でフォローアップする。
 - ・主に技術部門が設備投資を伴う中期的改善案をとりまとめる。
- 以上の基本方針によりPDCAサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

	1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準年度	2021	年度
目標年度	2024	年度
基準排出量	(実) 103,540 (調) 102,776 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
目標排出量	(実) 100,434 (調) 99,693 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
削減量	(実) 3,106 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実) 3,106 t-CO ₂ (実) t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 0 t-CO ₂ (実) t-CO ₂
削減率	(実) 3.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

	1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量	生産数量	
原単位の単位	t-CO ₂ /千t	
基準年度の値	770.3	
目標年度の値	747.2	
削減率	3.0 %	%

ウ 目標設定に関する説明

C02排出量およびC02排出原単位を年1%ずつ削減することを中期環境経営計画の取り組み目標として掲げており、本計画年度においても採用した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

2009年度比に対して2022年度は生産数量増加計画のため、削減目標は15%に設定した。
--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。）

計 画	(1) スチームトラップの保守管理 ・不良スチームトラップの交換（配管改造含む）を行い、蒸気ロス削減を図る。 (2) 主要設備等の保全管理 ・エネルギー使用設備の管理標準の見直しを行う。
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間における取組の評価 （第 3 年度の報告時に記載）	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

(1) スチームトラップの保守管理 ・不良スチームトラップの交換を行い蒸気ロス削減を図る。
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検 討 結 果
太 陽 光	×	
風 力	×	
バ イ オ マ ス	×	
未 利 用 エ ネ ル ギ ー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特になし
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	特になし
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	103, 540	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

55, 667	K L
---------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1, 500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎工業所	川崎区浮島町 8 番 1 号	103, 540 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1, 500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂